

2015年度上智大学キリスト教文化研究所活動報告

1. 講演会活動

①第43回連続講演会

テーマ：「日本カトリシズムにおける霊性の系譜」

日時：2015年6月20日、21日

場所：上智大学中央図書館921会議室

・個別テーマ・講師

6月20日（土）

「吉満義彦と献身の詩学」

若松 英輔（批評家）

「“十字架につけられたキリスト”との出会い

—奥村一郎神父の生涯—

九里 彰（跣足カルメル修道会管区長）

「遠藤周作におけるカトリシズムの受容と発信

—吉満義彦と井上洋治の影響に触れて—

山根 道公（ノートルダム清心女子大学教授）

6月21日（日）

「岩下壮一『信仰の遺産』を読む」

山本 芳久（東京大学大学院総合文化研究科准教授）

シンポジウム「日本カトリシズムにおける霊性の系譜」

若松英輔、山根道公、山本芳久

②2015年度聖書講座

テーマ：「ルターにおける聖書と神学」

日時：11月14日、15日

場所：上智大学中央図書館921会議室

・個別テーマ・講師

11月14日(土)

「二つの領域を生きる私たち」

内藤 新吾 (日本福音ルーテル稔台教会牧師)

「ルターの聖書解釈方法の特質—文字の意味と転義の意味—」

竹原 創一 (立教大学名誉教授)

「ルター訳聖書と現代ドイツ教会—伝統の継承か、刷新か—」

吉田 新 (東北学院大学講師)

11月15日(土)

「聖書のみ」と「聖書と伝統」

川中 仁 (上智大学教授)

「ルターにおける『つまずきの石』と『神学的突破』」

鈴木 浩 (ルーテル学院大学教授)

2. 出版活動

聖書論文集：『聖書の世界を発掘する—聖書考古学の現在—』

(リトン出版2015年10月30日発行)

紀 要：『上智大学キリスト教文化研究所紀要』 34号

(2016年3月18日発行)

出 版：『共生学』No. 9

(教友社出版2014年11月30日発行)